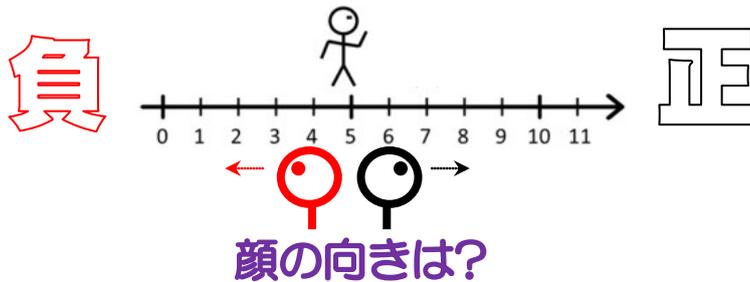


数直線上に人が立っています。

- ①正の数をたす…正の方向を向き、進む
- ②正の数をひく…負の方向を向き、進む
- ③負の数をたす…正の方向を向き、下がる
- ④負の数をひく…負の方向を向き、下がる



この考え方はとっても簡単です。

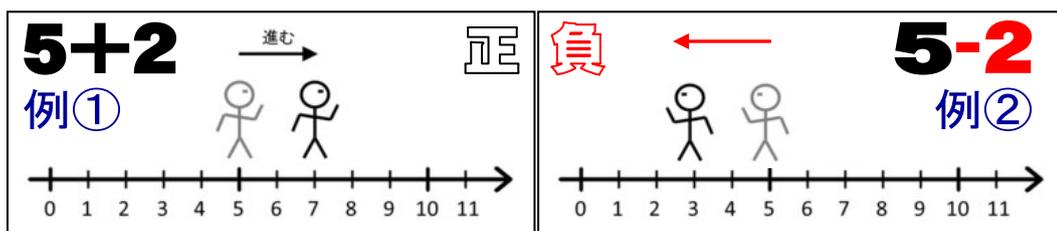
しかし、これだけではわかりづらいので、例を見ていきましょう。

例① 正の数のたし算

まずは正の数のたし算を例として考えてみましょう。

問題 1 $5+2=$

ある数直線上の 5 の位置に棒人間君が立っています。5 に 2 を足すのでこの棒人間君は正の方向を向き、2 歩進み、答えである 7 の位置へ到達します。



例② 正の数のひき算

次に、正の数のひき算を考えてみます。

問題 2 $5-2=$

5 から 2 をひくので、5 の位置にいる棒人間君は負の方向を向き、2 歩進みます。そして答えである 3 の位置へ移動します。

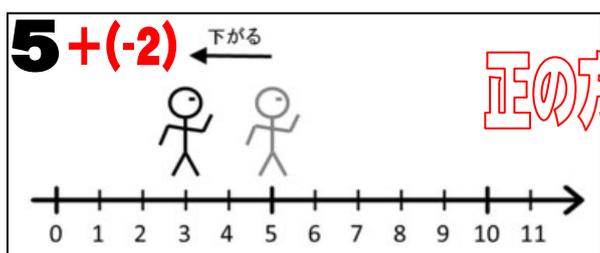


例③ 負の数のたし算

いよいよ負の数を考えたいと思います。まずは『負の数のたし算』についてです。

問題 3 $5+(-2)=$

これはたし算であるので、棒人間君は正の方向を向いています。しかし、たす数が -2 であるので棒人間君はそのまま 2 歩下がることになり、3 へ到達します。



正の方向を向きムーンウォーク…数がへる

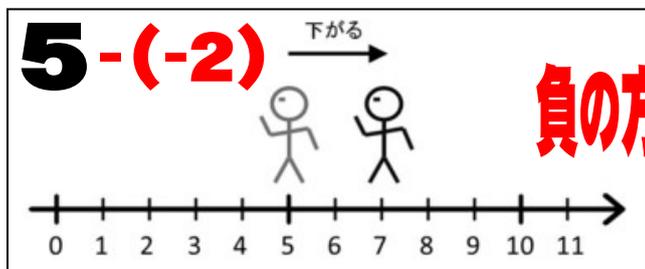


例④ 負の数のひき算

次に、『本題である負の数のひき算』を考えます。

問題 4 $5-(-2)=$

これはひき算であるので、棒人間君は負の方向を向き、更に、 -2 を引くので 2 歩下がります。そして答えである 7 の位置へ到達します。



負の方向を向きムーンウォーク…数がふえる

